

国際交流基金助成事業報告書

薬学部薬学科 5 年次生 上村 美祐

私は 2019 年 3 月 24 日から 4 月 7 日の 2 週間、フィリピン、セブ島にある CPILS という語学学校に短期留学をさせていただきました。

今回はこの英語力向上を目的とした短期留学の経験について報告させていただきます。

1. 語学学校について



私が留学した CPILS という語学学校は、空港からタクシーで 20 分ほどにある校舎と寮が併設された語学学校です。私は語学学校選びにおいて、日本人が少ないこと、セブ島留学ならではのスパルタ教育のカリキュラムがあることを重視しました。

セブ島の語学学校は日本人経営又は韓国人経営です。その中でも CPILS は韓国人経営のため、日本人は 3 割程度で、韓国の教育が顕著に現れた 1 日最低 10 コマのスパルタ教育です。最後にはこの 2 点が決め手となり、この学校を選択しました。

また、CPILS はセブ島初の外国人を対象

とした語学学校で、教育の歴史があるため、ネイティブ講師も多く在籍しておりセブ島にいながらネイティブの英語を学ぶ機会もあります。

2. 授業について

授業は 8 時から 19 時半までで、マンツーマンクラス 4 コマ、集団クラス 4 コマ、リスニングクラスと選択授業のムービークラスを受講しました。

マンツーマンクラスでは、先生によって発音などのレベルは異なるものの、スピーキングに特化した授業を多く受けることができます。また、集団クラスのうち 1 コマはネイティブ講師の授業なので、フィリピン人講師マンツーマンクラスの〈日本語で考える前にとにかく英語で話す練習〉という授業とは異なり〈発音を意識しながら質の高い会話を心がける〉という発音に特化した授業を受ける事ができました。

選択クラスのムービークラスでは課題の映画に出でくる単語を全員で勉強した後、実際に英語字幕で映画を鑑賞しました。事前に単語をインプットしているため、映画の内容を英

語で理解する練習をする事ができ、帰国後もこの授業で学んだ方法を用いて映画から英語を勉強しています。

3. 滞在について

CPILS は寮と校舎が一体になっており、夜まで講義を受けた後はすぐに寮の部屋に戻ることができます。門限は 21 時ですが、授業終了後に外を出歩く学生はおらず、入り口には 24 時間セキュリティがいるため安全面にも安心して過ごすことができました。



ができました。

寮は 1 人部屋～4 人部屋を選ぶことができ、私は語学力だけでなく文化の違いにも積極的に触れたいと考えていたため 2 人部屋を希望し、韓国人ルームメイトと生活をしました。

文化が異なるからこそ、シャワーのタイミング等の生活の細かい違いがあり、その都度話し合うことで、学んだ英語をアウトプットする機会を多く持ちながら親交を深め、生活をするこ

4. 最後に

来年から社会人になるので、英語力を向上させるだけでなく、出会う人々と互いの文化や価値観の違いに目を向けることも目標としていました。

結果として、授業ではフィリピン人講師、韓国人や台湾人の学生から、文化について気づくだけでなく、コミュニケーションをとりながら掘り下げて知る事ができました。

そして、違いや価値観を知っていく中で、社会人になってからも英語を学び続け、柔軟に違いを受け入れていきたいと考えるようになりました。

今回の留学は学生として短期留学をする最後の機会でした。このタイミングで、これからに繋がる素晴らしい経験をさせていただいた事をとても感謝しています。

これからも学ばせていただいたことを忘れずに、社会人になってもこの経験を活かしていきたいと思います。関わってくださった先生方、学生課の方々、本当にありがとうございました。